

令和7年度第1回三次市総合教育会議

- 1 日 時 令和8年2月6日(金)
開会 10時30分
閉会 11時00分
- 2 会 場 三次市役所本館3階 防災会議室
- 3 出席構成員
市 長 福岡 誠 志
教 育 長 迫 田 隆 範
教 育 委 員 小根森 直 子
教 育 委 員 井 岡 直 美
教 育 委 員 藤 井 皇治郎
教 育 委 員 小 川 治 孝
- 4 出席職員等
(教育委員会事務局)
教 育 部 長 宮 脇 有 子
教 育 部 次 長 豊 田 庄 吾
教 育 企 画 課 長 渡 部 真 二
学 校 給 食 担 当 課 長 小 原 謙 二
学 校 給 食 担 当 係 長 梅 野 和 史

(事務局)
経 営 企 画 部 長 笹 岡 潔 史
企 画 調 整 課 長 加 藤 泰
企 画 調 整 課 係 長 永 迫 文 恵
企 画 調 整 課 主 任 歳 秀 隆 星
- 5 協議事項
・三次市立小中学校の給食費無償化について

(事務局)

開会に先立ち、総合教育会議は原則公開とされているため、公開により行う。それではただいまから、令和7年度第1回三次市総合教育会議を開会する。総合教育会議は、市長、教育長及び教育委員で構成される。開会にあたり、福岡市長から挨拶を申し上げます。

(福岡市長)

本日の総合教育会議に出席いただきお礼申し上げます。

また、委員の皆様には平素より本市の教育振興並びにひとづくりに対して、ご支援、お力添えをいただき心から感謝申し上げます。

本日は、三次市立小中学校の給食費無償化について、委員の皆様にご意見を伺い、ご議論していきたいと考えている。

学校給食費の無償化については、これまで市議会からも無償化へのご意見、ご要望などをいただいていたが、財源の見通しが立たないという背景があった。

しかし、昨年12月、国において、3党合意に基づく小学校の給食費無償化の方針が示され、新年度から実質的に全国の小学校において学校給食費の無償化が行われるという状況になった。

これを受けて市独自の取組として、市立中学校についても給食費の無償化を実施し、保護者の負担軽減に努めていきたいと考えている。

このことについて、本日は、委員の皆様のご意見を頂戴したいと考えている。限られた時間ではあるが、委員の皆様の率直なご意見を伺いたい。

(事務局)

それでは協議事項に移る。ここからの進行は議長である市長にお願いする。

(福岡市長)

それでは、協議事項の「三次市立小中学校の給食費無償化」について、教育委員会より説明をお願いします。

(教育委員会)

「三次市立小中学校の給食費無償化」について説明

(福岡市長)

まず、私から、「三次市立小中学校の給食費無償化」について考えを申し上げます。

まず、学校給食は子どもたちの健康を支える上で、非常に重要な役割を担っている。

本市においては、学校給食センターを新設するとともに、小中学校ともに完全給食化を実施している。その中で、三次らしい学校給食を提供していくため、学校給食センターを中心に、栄養面だけではなく食育の面に関しても工夫していただきながら、できるだけ地元でとれた農産物を活用し、給食を提供しているところである。

学びを支えるという面では、「食べること」、「健康」が非常に重要であり、学校給食は安心して学校生活を送るための大きな基盤であると考えている。

また、学校給食は基本的に全国どこに住んでいても、同じように保障されるべき教育環境の一部であり、自治体間の財政力の差によって、支援の内容が左右されることはあってはならないと考えている。

これまで全国市長会などを通じて、給食費の無償化を強く要望してきたところであり、先ほど述べたように、「児童1人当たり月5,200円」を上限として、国が支援する方針が示されたところである。

現下の物価高騰等の影響により、経済環境も大きく変化している状況であり、今後も食材費の高騰が予測される状況にあるため、給食の材料費についても、増加していく予測が立てられている。

こうした状況を受けて、小中学校の給食費の無償化により、保護者の経済的な負担をできるだけ軽減し、現役世代をしっかりと支えていきたいと考えている。

この度の全国的な小学校の給食費無償化にあわせて、本市の独自施策として、市立中学校の給食費も無償化していくという方針をお示しし、この場で委員の皆さんに率直なご意見をいただきたい。

中学校の給食費無償化についても全国市長会などを通じて、財政負担が全国一律になされるよう、引き続き要望活動を実施していきたい。

あわせて、今後も老朽化が進む給食調理場を順次、学校給食センターへ集約していきたいと考えており、学校給食を1ヶ所で提供することにより、コスト削減や運営の効率化を進め、教育環境の充実に努めていきたい。

続いて迫田教育長の考えを伺いたい。

(迫田教育長)

本日は、このような機会を設けていただき感謝申し上げます。

まず、学校給食の意義について確認させていただきたい。

学校給食は、法律において児童生徒の心身の健全な発達に資するものとされており、また、その普及充実や食育の推進を図ることと定められている。

私どもも学校給食が果たす役割は非常に大きいものと認識している。

本市においても、学校給食センターや各共同調理場において、それぞれの職員の努力や食材納入者の皆さんの協力により、安全安心で三次らしい、おいしい給食を提供することができていると捉えている。

一方、先ほど市長から発言があったように、小学校の給食費については、来年度から抜本的な保護者負担の軽減措置がなされると示されたことを受け、教育委員会としても情報収集や具体的な対応を進めているところである。

今回、市長から中学校を含めた給食費無償化の実施について示されたが、本当に保護者の負担軽減に大きく寄与するものであり、学校給食の果たす役割をこれからも進めていく上では、大きな力になると考える。

近年、学校給食については、物価高騰の影響により、食材価格が上昇する一方で、成長期にある小中学生が必要な栄養素やエネルギーを摂取することができる給食を提供していく必要もあり、その両立について関係者で苦慮してきたところである。

そういう意味では、限られた本市の財源を学校給食に活用し、未来ある子どもたちの健全な成長につなげていきたいという市長の思いは、私も大変重く受けとめており、しっかりと前に進めていくことができれば大変ありがたい。

市立小中学校の給食費無償化が実施されるとなった際には、その意義について、地元の食材を納入していただいている皆様をはじめ、関係者の皆様ともしっかりと共有させていただきながら、学校給食や食育の充実に努めていきたい。

(福岡市長)

それでは、他の委員の皆様からもコメントをいただきたい。

(小根森委員)

本日はこのような機会を設けていただき感謝申し上げます。

三次市は、日頃から子どもたちの教育や子育てに力を入れていると感じている。

また、素晴らしい学校給食センターが整備され、食育の面からも地元の食材を十分に活用いただいたり、配信により各学校で給食づくりの様子を見ていただくような取組もなされていると伺っている。

この度、市立中学校の給食費も無償化されるということは、本当にありがたく、素晴らしいことだと思う。

市長が、学びを支えるのは健康であり、安心した学校生活を送るためには、食

べることが大切だとおっしゃったことは本当にその通りだと思う。

給食費の無償化により、保護者の負担軽減につながることは子どもたちにとってもうれしいことだと思う。大賛成である。

(井岡委員)

本日はこのような機会を設けていただき感謝申し上げます。

学校給食は、ただ食べるだけではなく、心身の成長や一緒に食べるときの協調性を育むなど、教育的な意義があり、1つの教育活動だと捉えている。

生きる上で「食べる」ということは根底にある一番大事なものであり、それを学校で担うことの重さは、これまでも随分感じてきた。

この度、小学校だけではなく、中学校も給食費の無償化を実施されるということに喜びを感じている。よろしく願いたい。

ただ、給食費の無償化によって献立のマンネリ化や食材の質の低下につながり、給食の質が下がるのではという懸念の声があるという話も耳にしている。取組内容を明確にし、この事業を進めていただきたいと思う。

(藤井委員)

本日はこのような機会を設けていただき感謝申し上げます。

日本を離れると医療保障すらままならない国もある中で、日本は本当に恵まれた国だと感じている。

この度の市立小中学校の給食費無償化は、全国的に見ても稀な取組だと思う。

1人でも多くの児童生徒が地元の食材を使ったおいしい給食を味わうことで、成長しても三次に帰ってきてくれるような取組になればいいと思う。大賛成である。

(小川委員)

本日はこのような機会を設けていただき感謝申し上げます。

私自身、給食がとても好きだった。

子どもたちにとっては、地元の人が作られたものが、献立に載ることで地域愛を醸成する側面もあると思う。

また、学校給食が子どもたちの健やかな育成に対して、大きな役割を担っていると、私自身も感じている。

昨今、メディアでもよく取り上げられているが、家庭環境により食事の回数が減っている家庭もある。そうした状況の中で、学校給食は子どもたちの体づくりの最後の砦だと感じている。

こども食堂が増えており、これは食べる回数を増やすという側面もあると思

うが、食べることによって、コミュニティができていくという側面もあると思う。

今回の給食費無償化について、親の目線で言うと、市で負担していただく給食費の部分をしっかりと子どもたちの健全な体づくりのために、使っていただきたいと思う。私自身も大きな期待を寄せている。

この給食費無償化の取組からは、地域の子どもたちは地域で育てるという強いメッセージが感じられ、本当に素晴らしいことだと思う。

市として家庭の負担を軽減していくということは、「三次市は子どもをしっかりと育てている」というメッセージにもなると思うので、できる限り、給食費無償化の取組を続けていただきたい。

(福岡市長)

委員の皆様からご意見をいただいたが、概ね、市立小中学校の給食費無償化については、賛成というご意見と受けとめた。

その中で、井岡委員からご発言いただいたように、全国的に給食費の無償化に伴う質の低下が懸念されている。

我々としても、質の低下が生じないように、教育委員会と連携しながら、安全安心な、今まで通りの給食が提供できるように取り組んでいく。「あのときの給食おいしかったよね」といった、子どもたちが給食からふるさとを思い起こすような、そんな給食になるよう様々な関係機関と連携をとりながら進めていきたい。

また、給食無償化に向けた予算については、3月の市定例議会に関連予算を提案させていただく予定である。

本日予定していた議事が終了したため、進行を事務局に返す。

(事務局)

以上をもって、令和7年度第1回三次市総合教育会議を終了する。